



学校だより

4月号
横浜市立桜台小学校
令和8年4月7日発行



HPはこちらから



創立71年目のスタートにあたって

校長 中村 真弓

77名の卒業生の巣立ちを見送るように開花した学校の桜でしたが、葉が目立つようになりながらも、96名の1年生を迎えるまで花が散らずにいてくれました。昨年は創立70周年を迎える中で、学園通りの桜が桜ヶ丘地区のみなさまにとって地域のシンボルなのだと知りました。この桜の木々に見守られて創立71年目をスタートします。今年度も昨年度までと同様に、よろしくおねがいたします。

令和8年度も、学校教育目標「自分の思いや願いを実現させていこうとする子」を中心に据え、子どもたちの思いや願いを引き出し、それを実現させられるよう努力してまいります。詳しくはまた、後日説明いたします。合わせて8年度からの教育活動に変更点が出ているところについてはこれまでにご連絡しています。ご確認いただければと思います。

桜台小学校では、これまで中学年、高学年を中心に算数の小人数クラスを実施したり、専科だけでなく学年内で教科担任制をとったりしていました。これは、ひとりのお子さんを複数の教員の目で見守っていかうというねらいのもとに行っていました。お子さんの側からすると、何か困ったことがあった時に声をかけやすい教員に相談できる、という利点があります。

今年度は、それを一歩進めて学年によっては副担任をおいてチームで子どもたちの支援をしたり、個別支援学級では2名の担任で2つのクラスを担当したり、といったチーム担任制をとっていきます。全ての学年での実施ではありませんが、教職員がチームとして協力し合い学年支援体制を作っていこうということはどの学年も同じです。担任だけでなく多くの教職員がかかわることで、子どもたちの気持ちの安定を図りよりよい成長につながることを期待しています。

学年だけでなくすべての教職員がチームとなって全校の子どもたちを支援して参りますが、教職員だけでなく、保護者の皆さま、地域の皆さまと「チーム桜台」として子どもたちを見守っていければ幸いです。令和8年度、どうぞよろしくお願いいたします。